

伊良湖岬小学校候補地説明会（伊良湖校区） 議事要旨

日 時	平成26年2月13日(木)19時00～21時30分	
場 所	伊良湖市民館	
参加者	校区会長ほか（校区）	
	地域住民（男性・女性）	32人
	田原市（市）	教育委員会 前田部長、中村次長、山本課長、渡会課長 和地小学校 藤城校長
資 料	新設小学校の候補地について	

伊良湖校区会長：開会あいさつ

前田部長：あいさつ（提案の経緯説明）

和地小学校長：和地小学校裏山について説明

中村次長：資料内容の説明（別添資料）

《主な意見等》

●和地小の裏山について

問：山の所有者は誰か？

答：和地

問：山から水が出るのはどうゆう理由か？

答：下が砂利であるので水が出る。12 万年前の地層であり、地質としては安定している。また、和地小がこの場所になって100年経過しているが、大きな災害の記録はない。

意見：藤城校長からの裏山の状況の説明を聞き、工事により立木を伐採するなどにより危険を増すことになるならば工事はしないほうが良いと考える。

問：伊良湖は急傾斜地を心配している人が多くいる。

答：統合準備委員会としては、裏山を見学していただいて状況を確認していただく機会を設けたい。

●新設小学校候補地について

問：3校区要望書の渥美運動公園付近と中学校北側の提案について、どのように3校区へ説明していくのか。

答：伊良湖小、堀切小、それから和地小と伊良湖岬中もゆくゆくは、廃校となる。4校の跡地利用を考えることは大変である。このようなことから、利用できる施設を利用することを考え提案をしていく。

問：2案は、どのような理由で提案したのか。

答：地元の意見を尊重して進めるという前提であるので提案した。

問：3案の体育館の共用とあるが、中学校の体育館の窓の位置は高いので、小学生の低学年では、開け閉めに不都合ではないか。

答：把握していないので、確認する。

問：小中連携の学校運営とあるが、小中一貫校としての計画なのか、勉強の面で成果が出ると良いが

答：私立の学校であるならば、カリキュラムを組んで取り組むこともできるが、小中の接続をスムーズにすることで、不登校やいじめの減をねらう。

意見：スクールバスの運行経路は、交通安全対策や道路の拡張など安全確保してもらいたい。

意見：岬中を福江中へ統合する場合は、海拔を考えてもらいたい。

意見：伊良湖小の跡地利用については、防災の面も考慮して欲しい。

問：市から再編に対する全体像を出すことも必要ではないのか

答：平成26年度中には、全体像を示していく。

問：スクールバスの経路は、安全なのか検証して欲しい。

答：統合準備委員会の中で、バス停も含め運行経路について検討していく。

意見：伊良湖岬保育園の南側は、大変風が強い。学校を造るなら岬中北側の場所が良い。

報告（伊良湖校区会長）：8校区の中学校の問題はあまり進展していない。岬、泉は小規模校であるので、考えているが、他の校区との温度差はある。8校区の意見集約はまだ先である。